

協働

第19号 2025年10月 6日

町田市教育委員会

指導課長 大山 聡

発行：町田市学校支援センター

地区ミーティングレポート

7月23日（水）町田第一小学校を会場とした第7地区ミーティングから始まった第1回地区ミーティングが、9月19日（金）金井中学校を会場とした第5地区ミーティングを終了したことで、無事全地区終了したことを報告します。それぞれの地区・会場校には、日程調整をはじめ、会場の準備等、ご協力をいただきまして感謝申し上げます。また、ご多用のところ、管理職の先生方をはじめ、地域連携担当教員の先生方、VCの皆さん、企画いただいた、統括VCの皆さん本当にありがとうございました。ある地区の校長先生が、この会で顔を合わせて直接話をするこの意義に触れてくださいました。お互いを知り、情報を交換すること、貴重な時間を共有することは、地域学校協働活動において、とても有効な活動であり、各校益々連携が進められたと確信しています。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

第7地区ミーティングの様子（町田第一小）



9地区ミーティングの様子（成瀬台中）



第10地区ミーティングの様子（鶴間小）



今年度より、地区ミーティングの終了時間が16:00となり、開始時間や開催方法について工夫が見られました。第1回目ということもあり、活動報告で時間がいっぱいになってしまう地区もみられましたが、活動内容が分かりやすく取り組み方への熱意が伝わる報告でした。また、どこの地区も統括VCが先頭に立ち、連絡調整してくださいました。短い時間の中に地区の工夫がみられるミーティングができました。今年度、「新たな学校づくり」で誕生した成瀬小学校では、スタートして「見えた課題」として通学路について安全委員会で見直しを進めるという報告がありました。

第1地区ミーティングの様子（堺中）



第1地区は、1回目ということもあり、近隣大学を中心にゲストを招きお話をうかがいました。法政大学ソーシャル・イノベーションセンター、Naturefactory 東京町田（旧大地沢青少年センター）、町田福祉O（まる）ごとサポートセンター、東京家政学院大学連携推進部、東京造形大学学術交流課が来てくださり、それぞれの大学・施設の連携の仕方や魅力について説明していただきました。また、すでに連携している学校の事例などもご紹介いただき、地区での連携を深めました。

校 名	問 題	回 答
小山中央小 VC 小室	Q1→本校教員のスタッフは台帳ありますか？ Q2→授業時間についての報告はないが、VC の配りが増えても協力費を支払う必要はないと報告されていますか？	A1→ A2→
小山中央小 VC 小室	Q1→報告にある、基礎体力の増進がリストから、実施可能になった数や場所はあるですか？	A1→ A2→
小山中央小 VC 小室 VC 小室	Q1→昨年とは異なりましたか、3 年生で実施された数や場所はありますか？（6 年生で実施の多い学校は、本校が実施できないと報告しています） Q2→地域の子ども 4 年生と見えていますか、3 年生で実施された数や場所はありますか？（6 年生で実施の多い学校は、本校が実施できないと報告しています）	A1→ A2→

第2地区ミーティングの様子（小山中央小）

第2地区では、新たな試みとして事前に報告事項を全てクロームブックのクラスルームに挙げることで、各校予習していただき、時間の短縮とペーパー化を試みました。さらに、正しくクラスルームにデータを挙げるために、地区内で自主的にクロームブック研修会を開き、個々の操作性のスキルアップを図ったそうです。ミーティングの中で生まれた余剰時間では、事前にアンケート調査を行い、各校の課題を挙げてもらい、余剰時間では、課題解決・課題共有を図りました。



第4地区ミーティングの様子（木曽境川小）

第4地区では、各校報告の後、昨年度からグループワークに使われている通称「エンタくん」を使用して、熟議を行いました。限られた時間の中で、白熱した話し合いが行われました。

9月、後半4校の地区ミーティングの様子

観測史上 1 位という言葉がたくさん聞かされた今夏は、日本各地で記録的な暑さに見舞われ、さらに、線状降水帯による集中豪雨等では、全国で甚大な被害を受けました。残暑厳しい中、地区ミーティングも後半がスタートしました。



第3地区ミーティングの様子（七国山小）

第3地区ミーティングでは、報告事項を簡潔に済ませ、後半は前回に引き続き、熟議を行いました。今回は、時間的な制約がありましたので、時間の許す限り管理職・地域連携担当教員・VC でキーワードについて話し合いを進めました。

第6地区ミーティングの様子（鶴川第三小）

第6地区は、八王子市教育委員会が地区ミーティングの様子を視察に訪れました。町田市のCS に対する取り組み、地域協働活動の現状を参考にするために、第2回目もぜひ視察させてほしいとのことでした。鰐坂校長先生をはじめ、第6地区の皆さんのご協力に感謝いたします。



第8地区ミーティングの様子（町田第二中）



第5地区ミーティングの様子（金井中）



2か月に及び長丁場でしたが、統括 VC の皆さんの緻密で計画的な調整・進行のおかげで無事終了することができました。日程調整をはじめゲストへの働きかけ、当日の司会進行に改めて御礼申し上げます。さらに暑い中ご参加くださった多くのゲストの皆様にも感謝申し上げます。今号で細かく紹介できなかった地区は、第2回の地区ミーティングで詳細を取り上げたいと思います。次回も、実りある話し合いができるよう願っています。

2025年度 町田市学校支援連絡会

学校支援連絡会が、7月16日（水）町田市役所10階の会議室で開催されました。開会の挨拶では、大山聡指導課長より日頃の活動への感謝とともに、児童・生徒の未来につながる大切な学びを、本日おいでいただいた各支援団体の皆様と共に創造するこの大切さと、今後の活動にさらなる支援のお願いについて話されました。

続いて、町田市の地域学校協働活動について、新井拓統括指導主事から事業説明、学校支援センターGVCからは、学校支援センターVCと協力支援団体をつなぐ・受け止める役割について、7月までに実施した学校訪問・事業活動内容（町田市・東京都）の説明を行いました。おいでいただいた、桜美林大学、玉川大学、和光大学、町田市商店会連合会、町田市シルバー人材センター、町田市社会福祉協議会、町田市スポーツ推進委員会、町田市環境資源部、FC町田ゼルビア、AVSパスカドーラ町田、エプソン販売株式会社、鶴川サイエンスラボ、町田市生涯学習インストラクターの会、日本漢字能力検定協会、たぶまち、公益財団法人日本ユニセフ協会等の支援団体様より、町田市内で既に各学校で取り組まれている協働活動についての紹介とともに、提案を含めた自己紹介がありました。さらに、支援団体から各学校で取り組まれるための資料の配布がありました。最後に太田管理係担当係長より、それぞれの支援団体の皆様から、町田市の子供たちのために、何ができるのかについてお話をお聞きすることができ有意義な時間であったことと、VCの皆様には、本日の会で得られた情報を学校で情報共有されて活用していただきたいとの挨拶があり、閉会となりました。

閉会後には、参加された各支援団体と各校のVCとの名刺交換とともに、具体的な取組内容や相談の時間とともに、地区ミーティングへの招待を行うなど、今後につながる貴重な時間となりました。



★サマースクール（小山中央小）

7月22日（火）小山中央小学校のサマースクール取材しました。当日は、浦木校長先生に案内していただきました。以下のお店取材しました。それぞれの活動でインタビューをしました。

○ニュースポーツを体験しよう（1・2・3年生インドアテニス）

- ・ちょっと難しいけれど、「ポン」と打つのが楽しい。
- ・おもった所にボールが打てた時がうれしい。

◇ボランティアの小山中学生にもインタビューしました。「ボールが打てるように、ボール出しをするところが難しいけれど、小学生が一生懸命やっている姿がとてもうれしいです。」



○好きなお花やパーツを選んでフラワーボトルを作ろう！（全学年）

- ・自分だけの作品、オリジナル感が出るところが好き。
- ・オイルを入れて、自分の想像通りできることが嬉しいけれど、難しさもある。
- ・困っていると上級生が助けてくれる。

○竹細工

- ・水筒：水を入れても漏れないように、蓋がピッタリとはまるよう少しずつ削って合わせるところが難しかったけれど、ピッタリとはまった時は嬉しかった。夏休みは竹の水筒を使います。
- ・箸作り：箸のさきをしっかり削り上げることができた。持つところは持ちやすくするために角を工夫して削れた。
- ・教えてくれる先生に褒められたところが嬉しい。

○食品サンプル・ミニかき氷（全学年）

- ・何色（何味）のかき氷にしようか、考えて作るのが楽しい。
- ・食べたくなるようなかき氷ができた（お母さんをお願いして、今日、かき氷を食べる）。
- ・かき氷のフワフワしたところがすごい。



子どもたちの安全性に最大の配慮を行い、夏休みの始めに楽しい体験をさせてくださった地域の皆様、学期末のお忙しい中、企画してくださった小山中央小の先生方、ご案内くださった浦木校長先生、萩原副校長先生ありがとうございました。